

第146回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成21年1月15日(木) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 8人
出席委員数 5人

出席委員の氏名 森内 律子
青木 敬信
片岡 真理
片山 貴之
古磯 勝子

欠席委員の氏名 須賀 英之
島田 恭子
早川 富美子

放送事業者側出席者 高松 征雄 代表取締役社長
原田 宏 取締役放送部長
佐藤 望 放送部長代理
佐藤 由紀子 放送部

4 議題 番組の試聴及び意見交換

5 議題の概要 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回(3月)の開催日程について

6 議事の内容

(1) 番組の試聴及び意見交換

昨年12月29日(月)の19:00~19:55に放送した特別番組「苑子ちゃんの手紙」の試聴と意見交換を行った。

事業者側：この番組はエフエム東京が制作し、昨年の日本放送文化賞のラジオ部門で準グランプリを受賞した。「ウィリアムズ症候群」という遺伝子疾患を持つ中学3年生の少女が、音楽を通して成長する姿とそれを見守る母親との葛藤などを同局の柴田幸子アナウンサーが密着取材。2人の肉声を通して等身大の実像を追った作品である。なお、グランプリと準グランプリの作品は、エフエム局の作品であれば全国のエフエム局で放送することが義務づけられている。

委員：素晴らしい番組だった。エフエム東京の制作だそうだが、出来ればダイジェストではなく全編を聞きたかった。

委員 : 私も大変良い番組だと感じた。マスメディアの使命は人気のあるテーマばかりを追うのではなく、こういうもの(ウィリアムズ症候群)にスポットを当てることにこそマスメディアの使命があると思う。取材とナレーションを担当した柴田アナは一見素人っぽい感じがしたが、そのキャラクターがかえって番組に貢献している。しかし、下手なわけではなく、ライブの実況には確かなスキルがあった。特に、苑子ちゃんを見守る弟の表情などは目に浮かぶようで、そのテクニックは素晴らしい。タイトルになった苑子ちゃんの膨大な手紙にしても、「不安が書かせたもの」と的確に表現しており、思わず納得させられた。

委員 : 柴田アナはアナウンサー志望ではなかったと資料にはあるが、原稿は誰が書いたのか？

事業者側 : 確認はしていないが、今回は密着取材ということもあり、原稿の大半は柴田アナが用意し、そこに構成担当の手が入ったと思われる。

委員 : 作業としては大変だったのでは？

事業者側 : 確かに、緻密な計算と相当な時間がかかったはず。

委員 : 番組自体は素晴らしいが、聞いていて笑顔は出てこない。本音を言ってしまうと、私の中では障害者の方を特別に見てしまい、同じ目線、同じ気持ちにはなれない。今回の番組の内容についても重さを感じ深く考えさせられ、聞くのが辛かった。一度だけウィリアムズ症候群のお子さんとお話したことがあるが、衝撃的で初めて会った時の驚きは覚えている。「何か障害があっても道を探せる」というメッセージもあり、色々と考えさせられただけでも素晴らしい番組だったのではないかな。

委員 : 素直に良い番組だと思う。私の周辺にも盲人などの障害者がある。そういう方に対しては、無理に理解するよりも「一緒にいる」というスタンスで十分なのではないか。柴田アナも苑子ちゃんにそのような感じで接していた。また、柴田アナの語りは重い問題を自然に伝えており番組の終わりもバランスが良く、へんに結論づけていないところに好感が持てる。

委員 : 皆さんと同様、聞いていて素晴らしい番組であると実感した。柴田さんのナレーションは確かに素人っぽいところはあるが、苑子ちゃんに接している場面を聞くと、温かい人柄を感じとても共感させられる。先ほど青木委員が指摘したように、こういう番組の制作こそメディアの役割だと思う。このご時世にこういう番組を聞くことで「我々ももっと頑張ってみよう！」という気になる。ウィリアムズ症候群については知らなかったが、身近にこういう子どもがいたら親には大変な思いがあるだろう、と感じつつ勉強にもなった。

委員 : 私も新聞記者という仕事柄、障害者の方とは接触がある。テレビであれば一目瞭然でわかるが、ラジオは言葉で的確にしゃべらないと番組は成り立たないため、今回ウィリアムズ症候群の方を対象にしようやって伝えるのが気になった。しかし今回は、苑子ちゃんの話しぶりも柴田アナのナレーションも良かった。パーソナリティの人柄が出て、自分の目線で語っているのも良い。それから、苑子ちゃんのお母さんの声が明るいのにビックリした。どんなテーマでも、取材側がどのくらい対象の目線に立てるのが大事。ラジオでは難しいテーマだったと思うが、人の生き方を伝えてくれ、ラジオの可能性を感じた。さすが準グランプリ作品！

(2) その他

特になし

(3) 次回 (3 月) 開催日程について

次回の開催を 3 月 1 2 日 (木) にすることについて、全委員の了解を得た。

7 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

8 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

a) 放送 : 1 月 2 5 日 (日) 午後 7 時 5 5 分の「レディオベリー インフォメーション」内。

b) 書面 : 本社事務所に備え置き。

c) インターネット : エフエム栃木ホームページ内。

9 その他の参考事項

なし